

伊東市総合計画 第4回 未来ビジョン会議

グループディスカッション <結果概要>

〈開催日時〉 2019年9月4日（水） 19:00～20:30

〈会場〉 健康福祉センター 2階大ホール

〈参加者〉 未来ビジョン会議委員 20人

〈テーマ〉 伊東市の今について考える

〈意見交換の内容〉

テーマ「伊東市の今について考える」では、下記にある各グループのテーマにあわせて、伊東市の現状について良い点と改善したい点について意見交換を行った。意見概要については次頁のとおり。（意見のまとめ方については、各グループのやり方に合わせているため、グループごとに異なります。）

グループ1	グループ2	グループ3	グループ4
テーマ1 医療、健康、福祉 分野	テーマ2 都市、中心市街地、 環境分野	テーマ3 教育、歴史、文化分 野	テーマ4 観光、農林、水産、 商工分野
5人	5人	5人	5人



■伊東市のいいなと思うところ、守っていききたいところ

○自然環境に恵まれている

(伊東市一番の魅力！)

[子育て]

- ・豊かな自然の中で子育てができる

[生きがい]

- ・自然が豊かで健康的に暮らすことができる
- ・田畑が多く、農業が高齢者の生きがいに繋がっている
- ・風光明媚で、日々のウォーキングや散歩が楽しい

○子育てのサポートが充実している

- ・高齢者が多く、子育てのアドバイスを受けることができる
- ・各種子育て支援制度が充実している
- ・産後の母子に対する支援（いで湯型デイサービス事業）など、メンタル関係の支援が充実している
- ・家庭訪問型の子育て支援事業がある

○高齢者の生きがいづくり、健康増進

- ・銭湯が多く、健康に良い。コミュニケーションの場にもなっている
- ・老人会が楽しそう（カラオケなど）
- ・「いとう健康マイレージ」のポイントが健康づくりの励みになっている
- ・認知症カフェなど、気軽に相談できる仕組みがある

○各種制度の充実

- ・年金相談の窓口があって助かった経験がある
- ・健診制度が充実している
- ・介護など、助成金が充実している
- ・葬祭扶助制度、給付金制度が実際に役に立った
- ・子ども食堂がある
- ・発達障害など、早めの療育ができるような支援がある
- ・保育園を訪問して行う相談会など、子育て支援がある



■伊東市の問題だと思うこと、困っていること、改善したいところ、残念なところ

○子育て環境が悪い

- ・待機児童がいる
- ・自宅から遠い保育所に預けなければならぬ現状がある（保育所の第5希望まで聞かれる）

○様々な地域間格差がある

- ・城ヶ崎の別荘地は高齢者が多いが、市政から外れている気がする（住民票の有無の問題!?)
- ・気軽に遊べる公園が少ない
- ・伊東市の特徴でもあるが、別荘地が取り残されている（福祉だけではなく、防災面も）

○高齢者の健康維持に課題がある

- ・高齢化率が高い
 - ・お達者度（＝健康寿命）が他市町村に比べて低い
 - ・豊かな自然が生かしきれていない
- 年々、耕作放棄地が増えており、景観的にも治安面でも問題である

○各種制度の周知が足りない

- ・制度自体は沢山あると思うが、内容や対象がよくわからない
- ・せっかくの充実した制度が、周知されていない
- ・各種制度の情報発信が少ない
- ・ニーズが表面化されていない（実際のニーズに合った支援がない）

○医療施設の利便性が低い

- ・医療施設への交通手段が整っていないため、自家用車がないと不便（伊東市民病院など）
- ・介護や発達障害など、相談内容が関係機関で共有されていない
- ・転院する場合紹介状があるのはいいが、特別な事情がある場合の窓口が不明、もしくはわからない
- ・人によって介護度が違うため、柔軟な対応が必要なのでは

○市民の声を聞く工夫が必要

- ・当事者の声が届きにくい
- ・本当に支援が必要な人へ情報が届かない。SOSの声を出しにくい人に情報を！
- ・今回のアンケートは一律同じ内容になっている。例えば、障がいがある人ならではの回答があるはずである。障がいの有る無しなどのデータがあるならば、それに合った内容にすべきではないか
- ・医療や防災など、情報ネットワークが発達していない。情報弱者を生んでいる



1 医療・健康・福祉

自然

豊かな自然の中で子育てができる。

自然が豊かで健康的に暮らせる。

田畑が9割に生かされている。

ウォーキングが散歩が楽しい。

伊東の一番の魅力

子育て

高齢者が9割ドバイ型受けられる。

子育て支援制度

産後の母子に対する支援

リフレッシュ（いこ湯型事業）

子育て訪問ボランティアがある。

高齢者の生きがい

銭湯が多く健康に良い。

老人会が身しろう（カラオケ）

健康マラージ

健康相談ができるカフェ（市事業）がある。

各種制度の充実

年金の相談窓口がある。目力がある。

福祉サービス

財政サービス

福祉

福祉

早目の療育ができるよう支援がある。

保育と子育ての相談支援している

市民の声

当事者の声が届きにくい。

市のアンケートの内容が同じ（障がいの内容）

SOSの声を出しにくい人に「情報」

情報ネットワークが発達していない（医療 防犯）

保育

自宅から遠い保育所

待機児童がいる

地域間格差

城ヶ崎の別荘地は割合が多いが市町村外れている

気軽に遊べる公園が少ない

高齢者の健康な暮らし

お医者さんが他市に比べて低い

健康寿命

自然の豊かさを生かしている

高齢化率が高い

制度の周知

制度の周知が低い

充実した制度の周知が低い

各種制度に対する発信が少ない

ニーズが表面化していない

医療施設

医療施設への交通手段が整っていない

相談内容が共有されない。（介護）

介護サービスと福祉サービスが連携していない

介護サービスと福祉サービスが連携していない

■住環境

□環境と自然環境の調和がとれている

- 住宅地、商業地、観光地のエリア分けができています
- 別荘地がたくさんある
- 市内の場所場所で役割がはっきりしている
- 公園等が近くにあるため、子育てしやすい
- 自然が豊富
- × お年寄りには山や坂が多く大変

□住民の気質がよい

- 近所のお年寄りがやさしい
- ほんわかしている
- 本当に悪い人が居ないと思う

□光熱費、交通費が高い

- ×プロパンガスや下水（浄化槽）の料金が
高い
- ×ガソリンが高い
- ×町内会費が高い地区がある

□買い手が見つからない遊休地が増加しつつある

- 遊休地がたくさんある
- ×天城エリアは不便で土地や住宅の買い手がない

□小学校、高校の統合傾向はよくない

- ×高校、小学校の併合はあまりよいことがないと思う

□害獣による農作物の被害があるが、猟師の高齢化で対応が難しい

- ×農作物被害を受ける中、猟師の高齢化が進行している

■道路

□主要道路はよく整備されているが、今後の整備方針は再検討してもよいと思う

- 主要道路の整備が良くされている
- ×宇佐美から伊東間の国道135号線は、4車線化の際に砂浜を削って整備され、市の中でも魅力的で貴重な場所が道路に充てられておりもったいない
- ×川奈から吉田の国道135号線の拡幅の必要性を再検討してもよいのではないかと

□脇道がたくさんあるため避難路の選択肢がある

- 脇道がたくさんある

□住宅地の細い道路までは除雪が行き届かない

- ×天城エリアの小さい道路までは除雪が行き届かない

□路上駐車が多く通行しづらい

- ×路駐が多く通行しづらい



■ 中心市街地

□ 中心市街地と伊東駅周辺が昔ほどにはにぎわっていない

- × 中心地の空洞化
- × 駅周辺の静けさ
- × 商店街さみしい
- × 子どもの集まる施設がない（ゲームセンター等でもよい）

□ 中心市街地の観光案内が不足している

- × どのように観光していいのかわからない（市内ぶらぶら）
- × 観光のための周遊ルートが分かりにくい

■ 景観

□ 海や海岸周辺の景観がよい

- 海がきれい
- 渚公園周辺の景観

■ 水

□ 大都市と比べて水道水の水質がよい

- 買わなくて済む
- 千葉と比べて、水道水の水質がよい

■ 公共交通

□ 公共交通機関の利便性が低く、運賃も高いと思う

- × バスの本数が少ない
- × 電車賃が高く感じられる
- × 鉄道が単線で対向列車の待ち合わせがあるため、所要時間が長い

■ 土地利用

□ 土地が広いと、活用できていない場所もある

- 土地が広い
- × 活用できていない？

■ 防災

□ 防災組織がある

- 消防団なるものがある
- 消防団が組織されている

□ 指定緊急避難場所、指定避難所はあるが、災害別に避難場所が異なりわかりにくい

- 避難先が豊富
- × 1次避難場所（指定緊急避難場所）の指定、動線ケア
- × 津波と地震で避難場所が違い、わかりにくい
- × 広域避難場所の認知度が低い
- × 津波
- × 観光客への防災対策
- × 避難ルートの明確化（かんばん等）

□ 廃屋や空き家が多く災害時には倒壊等の危険が予想される

- × 廃屋、空き家が多い

■ ごみ

□ 分別が少なく楽だが、ごみ減量が進まないのは問題だと思う

- 分別が少ない（良い悪いは別として）
- × ゴミステーションが貧弱
- × 全部町内会まかせでは分別が進まない、焼却量も減るはず

□ 粗大ごみの持ち込み場所が遠い

- × 粗大ごみを捨てに行くのが大変（遠い）



住環境

個々のエリアでの
生活が比較的
いい

住環境
自然が豊富

公園が近くにあり
子育てしやすい

別荘地が
たくさん

近所のとしい
がやさしい

住宅地
商業地
観光地の
エリア分けが明確

住環境
子育てしやすい
(公園が近く)

7000ガガ

浄化槽

天城川は
不便な土地に
多い

7000ガガ
下水浄化槽
の料金が安い

町内会費
高くない?

ガリが安い

お年寄りには
山や坂が多く
大変

住環境
山、坂が
多い

高級、高級の
併存

高齢者の
高齢化
農村地帯

ほんわか
している

木々に多い
感じがする

工業
遊休地
たくさんある?

市内の廃棄場
で分別が
されている

道路

砂埃を削いで
バリエーション
作るの観光
エリア

天城エリアの
小さい道路
降雪の行方

国道の
二車線化

道路
幅が広い
ところ

雪対策

主要道路の
整備が
良い

踏切が多く
通行が
遅い

天城エリアの
整備

中心市街地

中心地の
空洞化

駅周辺の
静けさ

商店街
がよい

中心
どろに
見える
よりの
中から
(市内
の中心)

観光
観光の
ための
周遊
ルート
が
わかり
やすい

中心市街地
子供
の
遊び
場
が
多い
(アム
スター
等)

景観

海が
きれい

活気
ある
景観

防災

避難先が
豊富

消防団
の
活動
が
ある

1人
1人の
避難
訓練
が
多い

防災
消防団
の
組織
が
しっかり
している

津波と
地震
の
避難
場所
が
よく
わかる

広域
の
避難
場所
が
多い

津波
が
ある?

観光客
の
防災
対策

避難
ルートの
明確化
(サイン
等)

防災
は
い
ろ
く
の
対策
が
多い

公共交通

公共交通
バス
が
多い

電車
が
多い?

鉄道の
単線

ごみ

ごみ
分別
が
いい

ごみ
ゴミ
ステーション

ごみ
回収
が
いい

ごみ
粗大
ごみ
捨て
に
行く
のが
大変

ごみ
分別
が
いい

土地利用

土地
が
広い

工業
用地
が
多い?

ブルー
ゾーン

■学校教育

□教育現場の問題

- ×スクールカウンセラー支援員の不足（勤務時間延長や、支援員の増員が必要）
- ×支援学級がある学校とない学校がある
- ×学校の先生が少なく負担が大きい
- ×登下校中の安全確保の問題（不審者から子どもを守る対策、交通安全対策）

□情報社会への対応が必要

- ×情報教育の環境整備の遅れ（タブレットの配備など）
- ×低学年からの情報のとりあつかいを学ぶ必要がある（ネット等の有害情報閲覧の防止など）

□恵まれた自然環境ある

- 豊かな自然環境
- 自然豊かな山、海に囲まれていて子育て、教育ができています
- 自然体験できる環境がある（体力や集中力が高まるなど良い効果がある）
- 学校まで歩いて行ける

□地域の協力、支援がある

- 地域の方と交流が多く、のびのびしている
- 地域の方がボランティアでパトロールしてくれる
- 地域と連携した授業を実践している
- 高校生による商品開発（サバギョーザ、ヤマモモケーキ、マツリズシ等）

□留学制度が充実している

- 留学制度が充実している

■歴史・文化

□古い歴史がある

- 平安時代からの深く永い歴史がある（「伊東」が姓字の人は伊東がルーツ）
- 実は高名な人物（近代の政財界）を出している土地柄

□地域の歴史・文化を守っていききたい

- 地域の文化を守っていききたい
- 地域のお祭りを守っていききたい
- ×地域の歴史についての学習状況がどうなのか
- ×小、中、高校生の文化・歴史の学習の発表の場が減ったように感じる
- ×歴史、文化を継承できていない（親自身が知らないことが多い）
- ×地域の歴史（伊東祐親、三浦按針など）についての不勉強さ
- ×フリーWi-Fiがあれば、外国人も遊びに来やすい（公共施設のWi-Fi環境整備が必要）



■スポーツ

□部活動は活発であるものの、学生が市外に出してしまう

- 部活動が活発（特に中学校）、全国大会に多く出場している
- ×部活動の選択肢が少ない（生徒数が少なく部活が成り立たない）
- ×市外に出してしまう学生が多い

□スポーツには良い環境であるが、受け入れ体制が整っていない

- プロ野球のキャンプ地だった環境やスポーツを1年中できる気候
- 合宿でクラブチームがよく使っていた（伊東スタジアム）
- ×スポーツ施設が老朽化している。他の地域と比べて規模が小さい
- ×合宿やキャンプ等の受け入れ場所やソフト面でも不足感がある



■現代社会の構造にかかわる問題

□少子化による学校の統廃合

- ×児童、生徒数の減少
- ×学校あたりのクラス数、生徒数の差が大きい
- ×高校統廃合の問題

□子どもの忙しさ

- ×現代の子どもは忙しい（部活動、宿題、勉強など）

□子どもの流出

- ×子供たちが高校くらいから市外に流出し、戻ってこない
- ×高校生の流出
- ×通学で外へ流れてしまう
- ×地元就職数が少ない



教育

学校教育

教育・歴史・文化分野

3グループ

(スポーツ・生涯学習)

よりよい教育環境
・情報教育
(環境整備)

スキルカウンセラ
支援員3人の勤務
時間延長 増員

タブレット
1台110万
必要

不審者 交通難
対策
(登下校の問題)

情報社会から
子どもを守る

どうなる
高校統廃合

1学年からの
情報教育の授業
身に付いて!

自然環境

流出

市内から市外に流
出しているケース

留学制度

高校生の
流出

通学で
外人流が増える

児童・生徒の
減少

地元就職数

学校あたりの
クラス数、生徒
数の差が大きい

支援学級
がある学校とない
学校がある

学校の先生は
少なくなっている

今の子供って
小さいよね

地域

地域の協力の支援

地域の子と
交流がたく
子供達との
交流が少なくなっている

地域の中心
がなくなって
いっている

高校生による
商品開発

YAMAHA
ヤマダ電機
マツダ

学校の先生は
少なくなっている

古い歴史

平安時代からの
深く永い歴史

伊東(平家朝)
姓中伊東
伊東出身の人

有名な人物 を輩出している

実は有名な人物を
出している土地柄
(近代 政界)

公文施設 Wifi環境 の整備

フリー
Wi-Fiがもっと
あると外国人も
来るようになる

歴史・文化

地域の文化 祭り

地域の文化
(守られている)

地域の歴史に
関する学習状況
どうなの?

地域の歴史に
関する
お祭り

小・中・高校生
文化的な祭りに
参加する機会
減った?

お祭り

スポーツ

部活・スポーツ 問題点

スポーツ施設の
老朽化
他地域と比べて
規模が小さい

部活・スポーツの
選択肢が
少ない

市外に出て
いる学生が
多い

スポーツの 活発

部活動
活発
(特に中学校)

全国大会も多く
出場している

フットボールの
キャンプ環境
スポーツ少年団
(伊東市)

スポーツ
の活発さ

今の子供って
小さいよね

つがれさっている...

■伊東市のいいなと思うところ、守っていききたいところ

○多様な自然が近くにたくさんある

- ・海や山が比較的近くにあり、気軽に行くことができる。
- ・大室山等のジオパークや景勝地等、多様な自然の姿をみることができる
- ・ダイビングができる
- ・伊豆高原観光施設の充実

○湯量が豊かな温泉がある

- ・温泉湯量が多く、源泉のくみ上げ量は全国4位
- ・温泉に手軽に行くことができる

○古いまちなみに趣がある

- ・レトロなまちなみ、古い看板などは趣があり、外国人からも評判がよい
- ・東京のように洗練されすぎてないところが、大都市のまちなみと違って面白い

○人付き合い

- ・人が優しく距離感が近いため、コミュニケーションが生まれやすい。東京ではあまりない感覚
- ・自信のある人が多い

○食事が豊かでおいしい

- ・飲食店が多く、芸妓（お座敷）や独特の snack 文化が面白く、夜の街が楽しい
- ・食べ物で美味しいものが多い。特に海産物が豊富で美味しい
- ・お菓子屋さんが多く、人口比率的には京都、金沢レベル

○その他

- ・著名人の別荘が多い
- ・都心からのアクセス良好
- ・市域が広い



■伊東市の問題だと思うこと、困っていること、改善したいところ、残念なところ

○未来を見てない

- ・ 零細

○町のあり方に問題がある

- ・ 商店街がシャッター街になっており、買い物をするのがないことから、駅前などの中心市街地に人が少なく、若者を引き付ける魅力に欠けている
- ・ ドーナツ化現象が進んでいる
- ・ 別荘地と市街地の住民で争いがあるなど、街の人間関係の内紛が多い

○シティプロモーションを上手にやっていない

- ・ まちのプロモーション活動が夏だけに特化していたり、タイミングが悪かったりするなど、全体的に上手にやっていない印象がある
- ・ 一部の地域をのぞき、温泉街らしさが失われている印象がある
- ・ 伊東市というとこれというものが統一して認識されていない感じがする。また、プロモーションに地域資源を活かしきれていなく、ブランド力や情報発信力が低下しているのではないかと

○観光地としての基盤が弱い

- ・ 海の透明度が低く、砂浜も黒っぽく、ビーチがゴミなどで汚れている
- ・ 伊豆縦貫道や新幹線から外れており、観光客にとってはアクセスがあまりよくない
- ・ 市域が広く、観光施設が分散している
- ・ 魚市場が汚い

○人の問題

- ・ 市域全体で高齢化が進行しており、社会全体的に決定権が男性高齢者にゆだねられている印象を受ける
- ・ 人間関係で、人と人の間が近い印象を受けるが、一定の場面からは閉鎖的なところがある。
- ・ 自信を持った人が多い。そのために商店の接客等が向上していかない。



